

ネイティブポーキン・クレアチンキナーゼ

Cat. No. NATE-1884

Lot. No. (See product label)

はじめに

[明 クレアチンキナーゼは、筋肉、脳、脊椎動物の他の組織に存在する酵素で、ADPとホスホクレ

アチンをATPとクレアチンに可逆的に \square 換する触媒です。 クレアチンホスホキナーゼのレベルが上昇している場合、脳損傷や脳卒中、けいれん、せん妄、皮膚筋炎または多発性筋炎、感電、心臓発作、心筋の炎症(心筋炎)、肺組織の死(肺梗塞)、筋ジストロフィーおよび筋症

の可能性を示します。

別名 EC 2.7.3.2; ATP:クレアチンホスホトランスフェラーゼ; CK; CPK; クレアチンホスホキナー

ゼ; クレアチンホスホトランスフェラーゼ; ホスホクレアチンキナーゼ; アデノシン三リン酸-

クレアチン転移リン酸化酵素; 9001-15-4

製品情報

種 豚の

由来 豚の心臓

*外*口 赤みがかったピンク**の**凍結乾燥粉末

形態 トリスアセテート、DTTおよびEDTAから凍結乾燥、pH: 7.0

EC番号 EC 2.7.3.2

CAS登□番号 9001-15-4

活性 > 500 U/mg

混入物 ALP: < 0.01% LDH: < 0.01% ALT/GPT: < 0.01% GOT/AST: < 1% アンモニア: < 0.01

マイクロモル/mg

単位定義 1ユニットは、 37° Cでクレアチンリン酸からADPへの1マイクロモルのリン酸のトランスリン

酸化を1分あたり触媒します。

保管・発送情報

保存方法 -20° Cで保管してください

安定性 3年